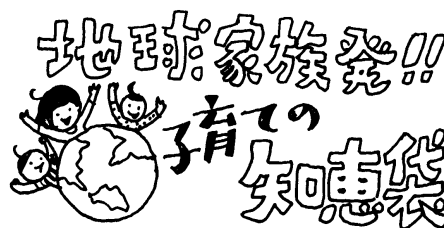


# 保育園での異文化体験エピソード



## その12 「外国語」は「壁」にはならない



イラスト・うつろあきこ

お 父さんが日本人、お母さんが中国・上海市出身の4歳になるK君が、上海の小学校へ行くために昨年11月に退園しました。父母ともに日本で仕事をしていて、上海には母方の祖父母がいるのですが、K君は幼稚園寄宿舎生活とのこと。お別れするとき、甘えん坊のK君がいなくなる寂しさと、上海の幼稚園で大丈夫だろうかという心配で悲喜こもごもでした。

その後数か月が経ち、K君は幼稚園が春節の長期休暇となって帰国し、お母さんの要望で当園の一時保育に通うことになりました。受け入れ初日、子どもたちも保育者たちもK君との再会を喜び、日本語で話しかけますが、返事はすべて中国語。K君は、日本語は理解できるようですが、保育者たちはみんな心配。でも、子どもたちはまったく大丈夫。以前と同様、一緒にブロック、パズルやゲームをして楽しんだり…。

そんな姿が見られ、私たちはみんなホッとしました。

子どもたちの「かかわる力」のすごさに、改めて驚かされました。オーストラリアに帰って小学校へ通いはじめたAちゃんも長期休暇でお国帰りをした後、園に戻ってきても同じ姿でした。子どもたちにとっては、「外国語」は「壁」にはならないのですね。

(中山利彦／東京都新宿区・新宿せいが保育園副園長)

### 「地球家族ネットワーク」へのお誘いとエピソードのお願い

保育は、世界中の人と仲よく生活できること（平和）を伝える役割があります。

そこで、国際交流や外国籍の子どもたちの保育について情報交換をしたい方は、「地球家族ネットワーク」に参加してみませんか？！

また、外国籍の子どもを受け入れて、心に残るエピソードがありましたら、ぜひお寄せください。

全私保連 保育国際交流運営委員会

TEL 03-3865-3880 / FAX 03-3865-3879

E-mail : ans@zenshihoren.or.jp